



上 店舗1階
下 手作りプリンとケーキ

上 ランチ ナポリタン
下 店舗2階

「写真苦手です」と、シャイな店主の佐々木さん
仕事は真面目で、笑顔が素敵です

オンリー“1”の 隠れ家カフェ



ichicafeは、小樽駅から徒歩6分程の小樽中央市場1号棟にお店があります。

こんな所にお店があったのかと一見すると見過ごしてしまいそうですが、市内中心部とは思えないほど、ゆったりとした時間を楽しめるノスタルジックで隠れ家的なカフェです。小樽出身の店主 佐々木寛子さんは、高校卒業後、カフェやパン屋などの仕事を通して、自分が作った料理を美味しいと言ってもらえた時の感動と喜びを知ったそうです。

飲食店の経験は長くなかったものの、自分の料理を多くの人に食べてもらいたいと一念発起し、令和元年10月に「ichicafe」をオープンしました。

“1”への思い

ichicafeという店名の由来は、令和“1”年にお店の準備が整い、オープンが予定が立ったこと、出店場所が中央市場の“1”号棟にあるので、“1”という数字に縁があるのかなと思って付けたそうです。

「どんなに忙しくて大変でも一人でお店を切り盛りしていこうと決めていたので、その意味も込めていま

す。ナンバーワンになりたいという“1”ではなく、地元の人に長く愛される“オンリーワン”のお店にしたいと思っています」と、佐々木さんの覚悟と思いが込められています。

苦勞と自由

ichicafeのメニューは、手作りスイーツ(プリン、ガトーショコラ、チーズケーキ)をメインに、ランチ1番人気の「キーマカレー」や「ナポリタン」などの食事も楽しめ、夜はギネスビールやハートランドビールなど、アルコールのメニューも豊富です。

仕込み、料理、接客全て一人で切り盛りしているので、一度に注文が多く入ると料理を提供するまでお客様を待たせてしまったり、ときには入店をお断りすることもあって、とても申し訳ない気持ちになるそうです。

また、オープンしてすぐ新型コロナウイルスの拡大が始まり、時短営業や休業要請が繰り返され、創業したばかりだったので、営業を続けていけるのか、お店からコロナを出したらどうしようかと、とても不安な日々が続きました。

佐々木さんは、「覚悟はしていましたが、想像を超えた状況になり、生活もこれまでと大きく変わって、思っていた以上に大変でした。でも、起業してやっていくと決めたので、苦勞も多いですが、納得する料理を提供することができまし、お客様の美味しかったという言葉で苦勞も報われます。これからも初志貫徹でも自分のペースで頑張っていこうと思います」

インスタ映え

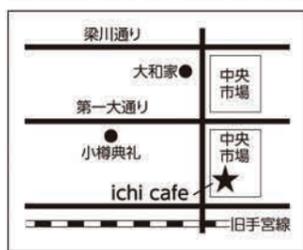
店内の1階は、落ち着いた色調でシャンデリアが印象的なブルックリンスタイルです。店内の奥の細い階段を登ると、2階は窓から自然光が差し込み、少人数で楽しめる半個室のような空間になっています。

BARの居抜きで入居したので、カウンターしか無かった店内ですが大きな改修工事はせずに、もともとあった壁紙や棚などを利用して、自分で壁の一部を塗り替えるなど内装を変え、お客様がひとりで来店しても寛げる空間にしました。

店内の雰囲気と手作りデザートが「インスタ映え」すると若い女性を中心に人気が高まり、道内外からお客様が訪れ、思い思いの写真を撮つ



小樽市福穂3丁目11-1 中央市場ビル1号棟
TEL 070-3829-8333
営業時間 11:00~21:00(L.O.20:00)
木曜日、日曜日 ~17:00
ランチメニュー (L.O.14:00)
定休日 月曜日



てSNSに投稿、この情報でまた新しいお客様にお越しただいていきます。 「最近、観光客は少ないですが、近所の方がよく来てくれます。やはり地元の方さんにもっと知っていただいて、愛されるお店にしたいと思っています」 日中のちょっとした息抜きや仕事終わりに、隠れ家的なichicafeで、心休まるひとときを過ごしてみたいかでしょうか。